

令和3年度（上級）特許調査研修（審査官の視点に近づこう！） 実施報告

令和4年3月

独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）では、令和3年度（上級）特許調査研修（審査官の視点に近づこう！）をオンライン講義と会場での検索実習のハイブリッドにて2回実施いたしました。
本研修では、効果、効率的な先行技術調査手法や、進歩性の判断の仕方などについて、講義だけではなく、演習・グループディスカッション、特許審査官が使う「高度検索閲覧用機器」（一部機能制限あり）を利用した調査実習を通じて学習いただきました。

1. 研修の概要						
(1) 日程	第1回			第2回		
	6月24～25日,28～29日			12月13～14日,16～17日		
(2) 開催地	東京都(6月24～25日はオンライン)			東京都(12月13～14日はオンライン)		
(3) 参加人数 (分野別内訳)	21名			22名		
	機械・装置	化学	電気・電子	機械・装置	化学	電気・電子
	10名	5名	6名	4名	8名	10名
(4) 講師	8名			8名		
2. アンケート結果（アンケート回収率：第1回 86%，第2回 91%）						
(1) 研修全体として	人数	割合	人数	割合		
・非常に有意義であった	5名	27.8%	10名	50%		
・有意義であった	12名	66.7%	9名	45%		
・どちらとも言えない	0名	0%	0名	0%		
・有意義でなかった	1名	5.6%	1名	5%		
・とても有意義でなかった	0名	0%	0名	0%		
・無回答	3名	—	2名	—		
(2) 主な意見・要望	・特許検索のノウハウやコツを伝授して頂けたと思う。また、他の受講生の方々とお話し・議論をすることができたことも収穫だった。 ・オーソドックスな検索手法について要点や考え方がよく理解できただけでなく、審査官経験者のご指導で、クレームや引例の解釈などについて細かな気付きが色々あり、今後の調査業務に大変参考になると思う。 ・FI、付加コードなど、文献調査業務について詳しく説明していただき、どのような考えで作られているか、進めたらよいかを知ることができ、今後の業務に活用できると思った。 ・質問の機会がたくさんあり、不明な点を解消しながら、理解を深めることができた。 ・講義形式で質疑も可能であったため、在宅でも問題なく受講でき、時間も効率的に活用できて良かった。					